

## 盛岡地区安全伐倒競技・交流会の開催について

### 1 はじめに

盛岡広域振興局林務部では、令和4年度から若手林業従事者の作業技術の向上、安全作業に対する意識醸成を図るとともに、参加者同士の交流促進及び新規就労者確保を目的に「安全伐倒競技会」及び交流会を開催しており、今年度の取組を紹介します。

### 2 とにかく安全第一

競技会に向け9月には日本伐木チャンピオンシップ出場経験者の岩手県伐木技術指導員小原孝氏と武田一吉氏の2名を講師に迎え、ルール説明会等を開催、ガンマークの使用方法及び競技会ルールと安全伐倒作業の関係性、チェンソーの目立て及びメンテナンスについての安全講習と実技指導を行いました。

また、競技会前日の12月4日には、チェンソーや安全保護具のチェック等、死亡林業労働災害を防止するため、安全作業を強く意識した指導内容を行いました。

本番の競技会は12月5日に管内林業事業体などから13名が参加し、「高得点＝安全伐倒作業」となるよう配点された「簡易伐倒の精度」と「危険行動による減点」の合計値で順位を競う内容で開催しました。



### 3 交流会

講習にあわせて交流会を昨年度同様に気軽で長すぎない昼食交流会を2日間開催しました。和気あいあいとした雰囲気の中で、参加者間の交流が図られており、事業体を超えた横の連携が期待されます。

### 4 高校生の部を新設

昨年度、見学した盛岡農業高校生へのアンケートの中に「競技へ参加してみたい」との回答があったことを受け、学校側と協議し、2年生が参加する丸太の輪切り競技高校生のを部を新設しました。(別号で紹介)

### 5 終わりに

9月の実技練習時と比べ、競技会では、明らかに操作技術が向上しており、出場者からは、安全に対する意識が向上した旨聞き取ることも出来ました。

また、盛岡農業高校生からは「林業への関心が高まった」等、林業に好印象を抱いてもらう良い機会となり、安全作業の意識醸成及び新規就労者確保が期待できる取組となりました。

今後も適宜内容の見直しを行い、高校生との部と併せて継続し、林業従事者の育成と、新規就労者対策に取り組んでいきます。

